

松本オフィス通信

日本福祉大学 松本オフィス

■ 学生奮戦記	1	■ 私の仕事	3
■ あなたの町の高校訪問	2	■ 高橋まゆみ人形館	3
■ 塩尻志学館高校で 特別授業	2	■ 辰野美術館	4
■ 長野地域同窓会より	2	■ アート&クラフト展	4
■ 地域支援の取り組み	2	■ インフォメーション	4

県出身の学生奮戦記!

フィールドワークを通じて 国際福祉開発学部 3年 今井 祐太



現在、国際福祉開発学部所属し学部の特色であるWorld Youth Meetingやフィールドワークなど様々な交流を通し、多くの経験をさせていただきました。その中で今回は、フィールドワークについて書きたいと思います。

フィールドワークの授業では、いくつかある研修先の中から、1年時にオーストラリア、2年時にインドでの研修を選択しました。

オーストラリアでは、英語が分からないながらも、2週間のホームステイを乏しい単語とジェスチャーでなんとかやりくりする状態でした。昼間は英語やオーストラリアの文化について学び、夜はホームステイという日程で、楽しい事ばかりではなく、しつ

り学ぶ環境も充実していました。インドでは、前半の1週間現地の大学に通い、同世代の学生との交流やホームステイ、講義でインドについて学び、後半はインド国内各地を訪問しました。

当然ながらどちらも日本とは違う文化・食事・生活で、すべてのことが新鮮でした。

2回の海外研修を通じ、共通して感じた事は英語の力不足はもちろんですが、日本と自分自身についてうまく答えることができなかった事です。

海外では、日本と自分自身について聞かれる事が多く、日本の文化?宗教?自分はどういう人なのか?毎回しつかりとした事を返答することができず、一番身近な事にもかかわらず、分かっていない事が多いことを感じました。

また海外の同世代の学生と交流する中で、いかに自分がなんとなく毎日を送ってしまっているか痛感し、もっと多くの事を学ぶべきであるし、経験するべきだと、多く刺激を受ける事ができました。

今後、就活も控えています。学生のうちにできるだけ多くの事に挑戦しておきたいと思えます。

(赤穂高校出身)

一番やりたいことを見つけるために 子ども発達学部子ども発達学科 保育専修 3年 土屋 風歌

私は元々、保育所の保育士として働きたいという思いがあり、日本福祉大学に進学しました。

大学の勉強は、答えが必ずあるわけではなく、社会の現状や政策等から現在の取り組みや課題を知り、そこから自分の考えを持ったり、友人と意見を言い合ったりすることも多く、始めは戸惑いました。

幸せって何だろう? 国際福祉開発学部 1年 長島 智美



私の学部は、1年時の選択講義は少ないですが、毎回の講義で専門的な知識が積み重なっていくのが自分でもわかります。

入学し立てのころ持っていた「福祉」のあり方や「国際協力」のあり方に対する考え方が、前期講義が終了した時点でだいぶ変わっていました。それは先生の話を聞いたり、一緒に学んでいる友達と考え方を共有することで得られ、また意見交換していく中で、今までの自分の考え方が実に傲慢だったことにも気づかされました。

この発見は一人では決してできなかったことです。私は大学に来て、同じ

大学では興味ある講義を選択でき、自分の興味、関心あることが学べ、毎日が新しい発見の連続です。

私との学部ではワールドユースミーティングという、国内はもちろん海外からも参加者が来てプレゼンを行い、問題を共有するというイベントを主催しています。今年も、8月5、6日に「幸せって何?」というテーマはつながっている」というテーマで開催されました。

イベントでは海外の方と交流もでき、プレゼンを聞いて幸せの形は一つじゃない、人によって国によっても幸せの感じ方は大きく違うのだと実感しました。自分の幸せとは何なのだろうと改めて考えることもでき、幸せってすごい身近にあるものなのかもしれないと感じられるようになりました。

私たちは、このイベントの主催者なので一人一人にかかる責任は大きく、準備期間中は本当に忙しい毎日でしたが、振り返ると4千人規模のイベントの運営に携われたことは誇りや自信になっています。

入学してから5ヶ月、自分なりに成長できたと感じています。今後も様々なイベントが控えています。これからも人との関わりを大切に、積極的に行動し自分を成長させたいです。

(飯田女子高校出身)

子ども発達学部子ども発達学科 保育専修 3年 土屋 風歌

大学で出会った友人とは同じことを学んでいても、一人ひとり考え方も進みたい道も違っているからです。

また大学では、保育や教育だけでなく、福祉の視点からも現代の子どもや子育てについて学び、考えることを大切にしており、その中で児童福祉についての勉強も多く、私は児童養護問題に関心を持つようになりました。

2年生で保育所実習、3年生では児童福祉施設での施設実習を経験しました。実習は、楽しいことだけではなく、講義で学んだことを実感でき、実習を通して学べ



(中野西高校出身)

あなたの町の高校訪問

山岳部讃歌 山愕部？ 山楽部？ 讃岳部！

(幕営競技中の様子)



歴史好きの女性がが増えて、誰が命名したかは分かりませんが、『歴史』これに続いて、女性登山愛好家がこの1、2年増加していて、『山ガール』ファッション業界による販売戦略でもなく、自然回帰、自然愛好の大きな流れの中で、山に入る若い女性が増えているらしい。

しかし！それは世間のこと、高校は、体育系クラブの中でも一段と厳しい状況に置かれているのが山岳部。今年6月初旬中旬にかけて、戸隠、飯綱高原で行われた長野県大会、北信越高校登山大会からもその様子が垣間見えました。

県大会に参加した学校は15校。高校数からすると2割に達せず、とくに女子の参加が急激に減少。女子だけを見ると、参加校は4校になってしまったのです。

勝ち負けを競うスポーツではなく、順位を争うわけでもない山岳部。「夏山の山行で最低十五キロ。普通、十七、八キロあるんですよ」というザックを持ちあげてみました。「むむっ。担ぎあげるのに一苦労。そうか、これを担いで、何時間も歩き続けるのか！三メートルの稜線上は、決してお気軽でもフアッシュヨナブルな世界でもありません。

北信越大会では初日、まず幕営(テント)を張ること(この競技があつたのですが、10分〜15分で、テント完成。そうですよ。この日も雨でしたが、高地で天候が悪化した時、いかに早く居住空間を確保できるかは、まさに死活問題ですから。

「登山というスポーツは、一位をめざすスポーツとは違う。普段の生活とはまったく違う世界で、24時間を一緒に過ごす。いろいろな個性や意見が出て、喧嘩もするし、ぶつかるときもある。でも、いちばん体力のない、弱いものに合わせて助け合い、カバールあつて目標にたどり着く。その過程を経験すると、ほんとうに仲間という良かつた、と思う。」

「心臓バクバクで山頂に立った時、遠く町の灯を見たとき、信じられないほどの星の数を見た時、心の中の深いふかい底のほうで、何かがチカチカとする。」

これは、上田千曲、塩尻志学館のチーフリーダーの渡邊君、浅野君はじめ、取材した高校の生徒たちの全部のインタビューの合算です。若き登山家たちは意外に雄弁で、山岳部の楽しさをたくさん語ってくれました。

でも悩みの種は、後輩の獲得。「とにかく山に行つて経験しないと、クラブの良さが分かつてもらえないんですよ！松本オフィスのニュース期待します。」うーん。この荷もなかなか重い。(戸隠高原キャンプ場に)



(荷物がぎっしりと詰ったリュック)

塩尻志学館高校・学生が特別授業

6月29日4・5限、塩尻志学館総合学科・生活福祉系列の授業の中で、卒業生の宮原京奈さん(日本福祉大学社会福祉学部4年)による特別授業が行われました。

宮原さんは高校時代、吹奏楽部に所属していて、定期演奏会にはじめて障害者の方たちを招待したこと、地域のボランティアを体験し、こうした活動を通して、大学進学を決めたことなどを語り、「誰かの役に立ちたい」、「人の役に立ちたい」という思いを持ち続けながら、大学での専門分野の学習につなげていることを報告。

また、学生アルバイトについても専門を活かした、障害児の起床から登校までサポートする仕事の経験などを学生の目線から語りかけ、共感を呼びました。

5限目も質問・回答を交えて授業が続行。

「地域福祉ってどういうことですか?」、「ミニティ・ソーシャルワークとは?」鋭い質問に、講師もたじろ。

最後に、宮原さんから、「皆が、小学生から、「ふくし」って何?」と聞かれたらどう答えますか?」という質問があり、「うーん小学生ね?」...というわけで、「これはゼミの先生に教わったんだけど、ふだんのくらしのしあわせ、これが福祉の意味だよって教えるそう。当たり前のことを分かったりやすくて結構難しいよね。」と授業の最後をまとめました。

このあと番外編で「キャリア・デザイン」の授業に食い込んで、車座になってQ&A。1月の国家試験前は、図書館が開館前に行列ができ、驚いたエピソードを交えながら、多彩なボランティア体験、大学の先生との付き合ひ方などに応えました。



(特別授業の講師を務めた宮原さん)

地域支援の取り組みすすむ

●宮田村清水水村長、平澤教育長と日本福祉大学の加藤学長、渡辺理事長との懇談が6月3日、美浜キャンパスで開かれ、今年度の連携事業について意見交換しました。村の第5次総合計画策定、子育て講座などを支援すると同時に、学生のフィールドワーク等への村の協力の在り方などが話しあわれました。

●伊那市高遠町地区の地域振興にむけて、日本福祉大学と高遠高校との連携事業が行われています。高校生の代表が学生と一緒に、名古屋市内での広報活動に取り組むとともに、高校では4月から7月にかけて経済学部の原田准教授の特別講義が行われました。

●就職活動支援の取り組み。
長野県社会福祉事業団はじめ、篠ノ井総合病院、鹿教湯温泉病院など県内の社会福祉法人、医療法人などから松本オフィスにはさまざまな求人情報が寄せられています。求人情報はすべて大学のキャリア支援課を通じて、学生全体に伝えられますが、長野県出身学生には、さらに学内の「長野県人会」メールで配信され、これがなかなか威力を発揮します。またエントリーシートの添削など、個人支援もオフィスでは継続しています。

同窓会も忘れないで！

長野地域同窓会 会長 山本 雄二
私たちは、日本福祉大学で学んだ共通の思いを心の財産にもち、長野県内に住んでいます。大学で学んだものを活かして地域社会の発展に寄与している同窓生の活躍は、目を見張るものがあります。同窓生の親睦や交流も県内各地で進んでいます。同窓会の活動をより発展させようと、次の重点活動を提案しています。

◆同窓生研究論文・実践レポート報告。
自身の活動を記録し、2月の総会でゼミナールに活用。

◆県下4ブロック 地域での同窓会活動への参加を。会員の親睦やニーズをくみ上げ、同窓会へ反映。

◆就職アドバイザー全県制度の活用。
県内に卒業生を受け入れるシステムの活用。

◆母校の学生募集への協力。
すぐれた人材育成を目指し、自身の体験や経験を学生募集に。

長野地域同窓会活動の詳細は、松本オフィスまでお問い合わせ下さい。

～利用者から学ぶ～ 私の仕事 ～地域から学ぶ～

お金を通じて地域貢献をする仕事 松本信用金庫 本町支店 小林 秀斗

今年の4月に入庫した新人です。金融機関というと、一般的に堅苦しく仕事をしているイメージが強いかもしれませんが、職場の雰囲気はとてもよく、仲の良い職場だと思います。また、信用金庫は地域密着の金融機関のためお客様との距離がとても近く、お客様と「最近暑いわね」「髪きった？」などの世間話をすることもよくあります。

私は、4月から6月までは預金の係りを担当し、今は主に融資の担当をしています。融資とは、お金を貸す仕事で、お金を預かる預金よりも、より慎重に作業をしなければなりません。融資の5原則として①安全性②公共性③成長性④流動性⑤収益性があります。私はこのなかでも公共性を大事にしたいと考えています。公共性とは、地域経済が円滑に発展するように資金を供給することです。地域のためになる融資を心がけていきたいです。また、最近では夏のキャンペーンで何か自分にできることはないかと考え、ティッシュ配りや店内のディスプレイをアレンジするなど、自分から行動することを心がけています。

利用者の声に耳を傾けながら

障害者支援施設 親愛の里 松川
生活支援員 北林 大輝

私は、4月より生活支援員として松川町にある親愛の里松川で勤めています。親愛の里松川は障害者支援施設。約50名の利用者(主に知的障害者)が生活されています。利用者の方々は、障害の種類や程度に依り、4つのグループに別れ、日々の活動に参加されています。具体的に日中活動では、ドライブや散歩、空き缶リサイクル活動、地域のボランティアの方による編物・絵画教室、陶芸体験等を行っています。

私が、生活支援員として当施設で勤め始めた頃は、ほんとうにどのように支援していけば良いのか戸惑うことも多々ありました。

特に、「利用者の声に耳を傾ける」ということは、とても難しく苦勞しました。利用者の中には、自らの思いを言葉で表現できる方だけでなく、言葉で表現できない方もいらつしやいます。言葉で表現できない方の思いに耳を傾け理解していくことは、容易なことではありませんでした。少しでも利用者の思いを理解する為

もともと将来地域貢献をしたいという思いが強かったので、お金を通じて地域貢献できるこの仕事は自分にとって適職といえます。まだまだ新人で先輩方には迷惑をかけるますが、早く一人前の社会人になれるように日々努力していきたいと思っています。

学生の皆さんも、これから社会に出るにあたり、たくさん悩むと思いますが、悩んだ分だけ将来が充実すると思います。福祉職でも一般企業でもどんな仕事でも、自分の決めた道をしっかりと進むことが将来設計において大事といえるかと思えます。一時的な感情に流されることなく、わが道を進んでください。

(福祉経営学部 医療福祉マネジメント学科
H21年度卒)



(松本信金行動派！)

に、目線を合わせ、相手の表情をしっかりと見ながら接するように心がけました。そうすることで少しずつではありますが相手の思いが把握できるようになってきました。

現在でもまだまだ戸惑うことがあります。先輩の生活支援員の方々だけでなく、利用者とのコミュニケーションの中で利用者の方からも多くの事を教えていただきながら、支援をしています。

私は、障害者の方々と共に活動や生活をする中で一緒に笑ったり、悩んだり出来るこの仕事が、大好きです。もともと、利用者一人ひとりの思いとしっかりと向き合いながら、支援を充実させていきたいと思っています。その中で、私も日々成長していきたいと思っております。

(社会福祉学部保健福祉学科H21年度卒)



(利用者さんと一緒に。右側:北林さん)

人形に魅せられて 高橋まゆみ人形館



「隣のおじいちゃんやねえか?」「泣けるわ」なにおがんでるんだか...「あんなにそっくり」...。人形を見ながら、観客が印象を口にする、おそろく日本中で、いちばんにぎやかな美術館ではないか?人形館に足を踏み入れたとたん、そんな印象を抱きます。普通なら係りの人が注意するところですが、ここでは一人の感想が、隣の人の共感を誘い、後ろの人が共鳴して、あちこちで印象が語られ、時には館のスタッフが解説に加わり、そこに笑い声やときどきは涙声も混じって、劇場の雰囲気にも似た高揚感があります。

2010年4月、飯山市にオープンした高橋まゆみ人形館は、作者高橋まゆみさんの創作人形を集めた小さな美術館です。人形の主役は何といっても老人たち。しかも農村風景のなかでの日常生活のさまざまなシーンがリアルに再現されています。畑の作業、夕焼けの帰り道、農作業の服、食事の風景、お葬式から屋台での一杯の酒、ひたすら祈る人、笑う人、あやまつている人、創作のテーマは縦横に広がっています。

そして忘れてはならないのが子どもたち。人形館には、老人の傍らで暮らす子どもたちの様子もほのぼのと表現されています。きれいで、ガラスケースに入れられ、鑑賞される人形ではなく、どこにでもいそうなおじいさんでありおばあさんがいて、観客はそれを共感を持って受け入れる、まるで、自分の家族や知人の自身がそこにいるかのように思えてくるのです。

県内外の老人会はもとより、福祉施設の方たちが見学に来られ、思い出話が尽きなかったこと、認知症の方たちにも見ていただいたことなど、「この人形には心の(浄化作用がある」と語るのは人形館の井田玲子支配人。「お年寄りの方たちだけでなく、若い人たちが涙を流して見ておられます」とも。高校生にもぜひ見てほしい!

作者の高橋まゆみさんは長野市生まれ。現在飯山市に在住。農家の嫁につき、畑仕事など暮らしの中の人間の表情に注目して創作人形をつくりはじめ、やがて全国各地で巡回展が開かれるようになりました。大地に生き、暮らす人間讃歌の美術館です。

【高橋まゆみ人形館】

長野県飯山市飯山2604111

電話:0269-97-0139

<http://www.iijama-ouendan.net/ningyo/>



今年も開催決定!! 障害者施設のアート&クラフト展
 信州DC 未知を歩こう。信州 共催イベント

山下清とその仲間たちの作品展
 辰野美術館

9月18日(土)~
10月17日(日)

■日時 10月2日(土)、3日(日) 10時~16時
 ■場所 松本駅東西自由通 入場無料
 ■主催 アート&クラフト展実行委員会

昨年度は13施設から、水彩画、版画、鉛筆画、書、卵殻アート、織物、手芸品など170点余りの作品が展示されました。

社会福祉施設では、施設職員のサポートを得ながら、利用者の方が表現活動として絵画や書、陶芸、手芸などの創作をしています。アート&クラフト展では、作品展示や作者紹介のほか、施設紹介および製品の販売を行います。表現活動の中で創られた、世界に一つしかない作品を見ていると、心が温かくなり、パワーがあふれてきます。ぜひ、この機会に障害者アートの世界にふれてみませんか？



(去年は、推定8,000人の方が来場)



辰野美術館ではこの秋、「山下清とその仲間たち」展が開催されます。「裸の大将放浪記」などで知られた山下清ですが、この辰野町にも一カ月ほど滞在したことがあり、作品、写真も残されています。今回はそれらの作品を紹介するとともに、山下が暮らした知的障害者施設「八幡学園」で育ち、多彩な表現方法を獲得した仲間たちの作品も併せて紹介します。

また同時に、「創造の王国」として、中南信の特別支援学校、支援学級や知的障害者施設の利用者の作品を紹介する特別展も開かれます(こちらは無料)。人間の可能性、創造と発達の問題など、学芸が多岐にわたる企画展です。日本福祉大学もこの趣旨に賛同し、後援するとともに企画展の開催協力を進めています。

■開催 9月18日~10月17日まで。
 ■会場 辰野美術館(辰野町荒神山公園内)

詳しくは、辰野美術館(Tel 0266・43・0753)または、松本オフィスまでお問い合わせ下さい。

~入試インフォメーション~

◆AO入学試験のご案内

	前期日程	中期日程	後期日程
書類出願期間(必着)	9月1日(水)~8日(水)	9月27日(月)~10月4日(月)	10月21日(木)~28日(木)
第一次選考合格発表	9月15日(水)	10月13日(水)	
面接出願期間(必着)	9月16日(木)~22日(水)	10月14日(木)~19日(火)	
試験日	9月25日(土)・26日(日)	10月23日(土)・24日(日)	11月7日(日)
合格発表	9月29日(水)	10月27日(水)	11月10日(水)

※AOの出願をするにあたり、最低1回本学の教職員との個別面談が必要です。
 ※入学試験の内容については、再度「入学試験要項」をご確認下さい。
 ※詳しくは、入学広報部(0569-87-2212)までお問い合わせ下さい。

◆進学相談会のご案内

進学相談会を開催いたします。入学試験、学部学科、学生生活、卒業後の進路についてどんなことでも結構です。お気軽にご相談下さい。

- ・9月7日(火) 15:00~18:30
ホテルブエナビスタ (松本市)
- ・9月8日(水) 15:00~18:30
ホテルメトロポリタン長野 (長野市)
- ・10月23日(土) 15:15~16:45
松本東急イン (松本市)

◆文化・芸術系部活動など推薦入学試験(前期) スポーツ推薦入学試験(前期)のご案内

	文化・芸術系部活動	スポーツ一般	スポーツ指定種目
出願期間	9月1日(水)~8日(水) 消印有効		
試験日	9月11日(土)・12日(日)		各サークル指定による
合格発表	9月15日(水)		

※文化・芸術系部活動など推薦入学試験は、今年から新設された試験方式です。

◆一般推薦入学試験(前期)のご案内

- ・書類出願期間 (消印有効)
- 【郵送】 11月1日(月)~17日(水) 【窓口】 11月18日(木)
- ・試験日 11月28日(日) ・合格発表 12月4日(土)

◆オープンキャンパスのご案内

今年度最後のオープンキャンパスを開催します。質問や疑問にお応えします。ぜひ、ご参加下さい。

- ・半田キャンパス 10月31日(日) ※6日(土)オープンキャンパスバスツアー開催決定!
 - ・美浜キャンパス 11月6日(土) 時間 10:00~16:00
- 詳しくは、大学入学広報部(0569-87-2212)または、松本オフィス(0263-31-9011)までお問い合わせ下さい。